Art-U room Press Release

Feb.24, 2018

この度 Art-U room では、アルゼンチン出身の女性画家カロリーナ・ラケル・アンティッチを迎え、当ギャラリーでの 4 回目となる個展を開催致します。

アンティッチの作品では、主に思春期前後の少年少女を中心とする子供たちの姿が、広く余白を残した画面の中に、淡く繊細なタッチで描かれています。どこか現実と空想の狭間の世界に存在するかのように佇む子供たちの姿からは、彼らが持つ多面的で儚く移ろいやすい感情の揺らめきが反映されているように感じられます。また、これらの作品の前に立つ時、かつて子供だった大人たちは、遠く記憶の底に埋もれた自身の記憶を、そっと呼び起こされるような印象を受けるかもしれません。

アンティッチは現在、ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクションにて開催中のグループ展「忘れられない、」にも作品を出展しています。そちらの展覧会とも関連する本展「Somehow」は、どういうわけか画家の心に残る忘れられない場面や人物を題材とした新作絵画約 10 点と陶製の彫刻 1 点で構成されます。これらの作品の中には、アンティッチがこれまでも繰り返し描いてきた氾濫した河のイメージを扱ったものや、また、以前から続けられている著名な人物の幼少期を描いたポートレートのシリーズとして、探検家のアーネスト・シャクルトンや映画監督のアンドレイ・タルコフスキーをモデルとした作品が含まれています。Art-U room の移転後初となる本展覧会、ぜひご高覧下さい。

「Air」
2018 年、アクリル・リネンキャンバス、104x68cm

「アンドレイ - Andrej」
2018 年、アクリル・リネンキャンバス、70x52cm

■ **カロリーナ・ラケル・アンティッチ** (Carolina Raquel Antich)
1970 年アルゼンチンのロサリオ生まれ。現在はイタリアのヴェニスにて制作活動を行なう。2005 年にイタリア若手芸術家賞の最終選考者となり、同年開催された第 51 回ヴェニスビエンナーレにて作品が展示される。以降ニューヨーク、ミラノ、ロンドン、東京、ブエノスアイレスほか世界各都市で個展を開催。近年は磁器による彫刻作品の制作に取り組むほか、吉本ばなな作品のイタリア語翻訳版のために表紙デザインの原画を提供している。

作家ウェブサイト
www.carolinaantich.com

展覧会概要

カロリーナ・ラケル・アンティッチ「Somehow」

会 期：2018 年 3 月 23 日 [金] ～ 4 月 21 日 [土]
火 - 土 13:00-19:00 / 日・月休

オープニングレセプション　3 月 23 日 [金] 18:00-20:00

会 場：**Art-U room**
港区南青山 1-15-2 南青山スタジオフラット B1-II
Tel. & Fax　03-6434-0168
Mail　artuinfo@abox23.so-net.ne.jp
URL　www.art-u-room.com

後 援：在日アルゼンチン共和国大使館

Embajada de la República Argentina Japón

120 AÑOS ARGENTINA-JAPÓN アルゼンチン・日本

▪ 展覧会内容や画像データのお問い合わせ、取材のお申込み等は、上記電話またはメール宛にご連絡下さい。

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 2018 春の企画展
忘れられない、

浜口陽三、カロリーナ・ラケル・アンティッチ、前原冬樹、向山喜章
会 期：2018年1月16日[火] – 4月15日[日]
会 場：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 中央区日本橋蛎殻町1-35-7